

必要なのは努力

今週は定期テストの返却がありました。全体的に勉強不足という印象を受けました。7年生はこれまで何度も、もっと勉強してほしい、と言われてきました。そう言われるのも慣れてきたという人もいるかもしれませんが、本当に大事なことから何度も言うのです。年度の終わりに差し掛かり、7年生の終わりまでにこうなってほしいという先生方の思いもあります。

今回の定期テストの提出物は全て出せたでしょうか。多くの提出物は3分の2程度しか提出できず、中には半分程度のももありました。これが一年の最後ということはとても残念なことです。みなさんは授業で発言が多く、「ノリ」がいい、授業をしていて楽しい、と多くの先生方から言っていました。だからこそ、このままではもったいないというのが先生たちの思いです。7年生の授業をしていると、みなさんは授業内容が全然わからないとか、学習に臨む姿勢が間違っているとは感じません。授業ではできていたのに、その内容を定着させる努力を怠っていると感じます。家庭学習の時間をとりましょう。保護者会でも言いましたが、まずは10分程度でもかまいません。机に向かう習慣をつけてほしいです。

また、課題についても、ただやるだけでなく、先生たちは「その先」をみなさんに伝えたいと思っています。プレゼンテーションだったら、やってきたかどうかが問題なのではなく、どんな発表だったかを振り返り、より良くするにはどうしたら良いかを考えることに力を注ぎたいはずです。

これから残り少ない7年生として授業を受ける日々、あるいは春休みの宿題、まず頑張ってみましょう。先日、英語の授業では、今日から修了式まで、あと18日しかないけど、毎日学校から帰ったら10分勉強してごらん、と提案しました。少しでも、毎日机に向き合うのは簡単そうで難しく、また、たったそれだけ、と思いきや大きな力になるものです。何か行動を起こしてみましょう。努力してみても見付かる課題もあります。今のままだと、本気を出せばできるのに、と言っているうちに時間があっという間に過ぎてしまうことになりかねません。今回の定期テストの結果を受けて、保護者の方とよく話し合い、次の目標を決めましょう。



☆つなぐプロジェクト

一年間の集大成として、学年で一つの動画を作るというつなぐプロジェクトが進行しています。表現する喜びを感じたり、自分たちの成長を感じられる行事にすべく、7年生が奮闘しています。ダンス、黒板アート、音楽、球技というチームに分かれ、探り探り進めています。やっている最中に、「それいいかも」と新しいアイデアが採用される場面もあり、完成が楽しみです。



